B6FJ-2611-01

FMV-BIBLO MG/E75N, MG/E70N
FMV-BIBLO R/E70, R/E70N, R/E50N

Windows XPをお使いになる方へ

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

目　次

はじめに

お客様がお使いのモデルは、OS を Windows 7 Professional から Windows XP Professional にダウングレード（移行）することができます。
このマニュアルでは、Windows XP へのダウングレードの手順や、Windows XP をお使いになるうえでの注意点などを説明しています。
Windows XP へダウングレードするときは、このマニュアルをよくお読みになり、正しい手順で行ってください。

Windows XP 用マニュアルのご紹介

このパソコンの Windows XP 用のマニュアルをご紹介します。

■添付の紙マニュアル

『Windows XP をお使いになる方へ』
このマニュアルです。
Windows XP をお使いになるための手順や、留意事項などを記載しています。

■インターネット上で見るマニュアル

以下のマニュアルは、インターネット上でご覧いただけます。

『製品ガイド』
パソコンの基本的な取り扱い方や、セキュリティについての説明、ソフトウェアの紹介などを記載しています。
『内蔵モデムをお使いになる方へ』
内蔵モデムの設定方法や、コマンドについて記載しています。

次のマニュアルは、無線 LAN の設定方法などについて記載しています。お使いのパソコンに該当するものをご覧ください。
『内蔵無線 LAN をお使いになる方へ（IEEE 802.11a/b/g 準拠、IEEE 802.11n ドラフト 2.0 準拠）』
『内蔵無線 LAN をお使いになる方へ（IEEE 802.11b/g 準拠、IEEE 802.11n ドラフト 2.0 準拠）』

インターネット上のマニュアルを見るには
サポートページ（http://azby.fmworld.net/support/）の「ダウンロード」よりご覧いただけます。

インターネットのサポートページ

インターネットのサポートページで、Windows XP ダウングレードについての情報や、お使いになるうえでの注意事項などをご案内しています。
Windows XP をご利用になる場合は、次のサポートページもあわせてご覧ください。
http://azby.fmworld.net/support/xpdg/

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	CD や DVD などのディスクを表しています。

■キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【Fn】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Fn】＋【↑】キーなど

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面は一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面およびファイル名などが異なることがあります。

■製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

<table>
<tr><th>製品名称</th><th colspan="3">本文中の表記</th></tr>
<tr><td>FMV-BIBLO MG/E75N, MG/E70N
FMV-BIBLO R/E70, R/E70N, R/E50N</td><td colspan="3">パソコン／パソコン本体</td></tr>
<tr><td>Windows® XP Professional</td><td>Windows XP Professional</td><td>Windows XP</td><td rowspan="2">Windows</td></tr>
<tr><td>Windows® 7 Professional</td><td>Windows 7 Professional</td><td>Windows 7</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office Personal 2007</td><td colspan="3">Office Personal 2007</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office PowerPoint® 2007</td><td colspan="3">Office PowerPoint 2007 または PowerPoint 2007</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Office Personal 2007 with
Microsoft® Office PowerPoint® 2007</td><td colspan="3">Office Personal 2007 with PowerPoint 2007</td></tr>
<tr><td>Windows® Internet Explorer® 8</td><td colspan="3">Internet Explorer</td></tr>
</table>

■お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先やインターネットの URL アドレスは 2009 年 8 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」へお問い合わせください。

詳しくは、『サポート & サービス』をご覧ください。

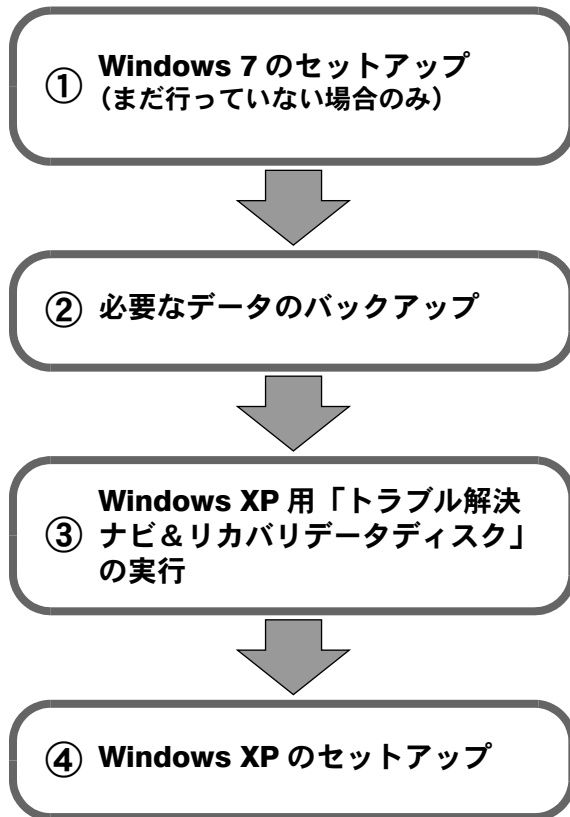
商標および著作権について

Windows XP ダウングレードの流れ

① Windows 7 のセットアップ（まだ行っていない場合のみ）

② 必要なデータのバックアップ

③ Windows XP 用「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」の実行

④ Windows XP のセットアップ

1. 必ずお読みください

Windows XP ダウングレード後の留意点

Windows XP をお使いいただくときに気をつけていただきたいことを記載しています。

サポート＆サービスについて

Windows XP での動作は、マイクロソフト株式会社のサポート対象外となります。また、添付されているすべてのソフトウェアについて、Windows XP Professional 上での動作保証はしていません。
Windows XP ダウングレードをご利用になる場合は、こちらをご確認ください。
http://azby.fmworld.net/support/xpdg/

■修理について

お使いのパソコンを弊社に修理依頼した場合、修理の内容によっては修理後に OS がご購入時の状態（Windows 7）になります。その場合は再度 Windows XP にダウングレードしてお使いください。

■ユーザー登録について

Windows XP のダウングレード前に FMV のユーザー登録が済んでいるお客様は、Windows XP ダウングレード後に新しくユーザー登録する必要はありません。
ユーザー登録がお済みでないお客様は、『サポート＆サービス』をご覧になり、手続きを行ってください。

■お問い合わせについて

「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」に問い合わせるときは、ご利用中の OS 名を窓口スタッフにお伝えください。

■Office Personal 2007 および PowerPoint 2007 について

Office Personal 2007 および PowerPoint 2007 については、マイクロソフト社の製品別サポートページ（http://support.microsoft.com/select/）をご覧ください。

Windows XP での注意事項

■ハードディスクの領域設定について

市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能で、ハードディスク領域の「不明なパーティション」と表示されている部分を削除したり変更したりすると、マイリカバリが正しく動かなかったり、ハードディスクのデータが読めなくなったりすることがあります。
また、その状態でリカバリを実行しようとすると、C ドライブ以外のデータが削除されてしまったり、パソコンが起動しなくなったりすることがあります。
ハードディスク領域で「不明なパーティション」と表示されている部分は、「トラブル解決ナビ」がインストールされている領域です。この領域は絶対に削除しないでください。
ハードディスクの領域を変更するときは、必ず「トラブル解決ナビ」から行ってください。
領域の変更方法は、「ハードディスクの領域を設定する」（→P.14）をご覧ください。

■Windows XP の省電力機能

Windows XP の省電力機能（スタンバイ・休止状態）をお使いになるときは、ACPI に対応した周辺機器をお使いください。
ACPI モードに対応していない周辺機器をお使いの場合、省電力機能が正しく動作しないことがあります。
省電力機能について詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

■お持ちのソフトウェアについて

お客様がお持ちのソフトウェアについては、Windows XP に対応していることをご確認のうえお使いください。

■「Plugfree Network」について

次の機能は利用できません。

- ●ネットワーク診断機能
- ●パケット抑止オプション機能

■リカバリディスクについて

Windows XPダウングレード後にCドライブをリカバリする場合は、Windows XP用の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」をお使いください。Windows 7用の「リカバリデータディスク」でCドライブをリカバリすることはできません。
リカバリ方法については、「Windows XPのリカバリ」（→P.14）をご覧ください。
OSをWindows 7に戻したい場合は、「Windows 7に戻す」（→P.15）をご覧ください。
なお、Windows 7をお使いの場合にCドライブをリカバリするときは、Windows 7用のディスクをお使いください。

■ソフトウェアディスクについて

Windows XP にダウングレードした後で、添付のソフトウェアをインストールする場合は、Windows XP 用の「ソフトウェアディスク」をお使いください。
Windows 7 用の「ソフトウェアディスク」に収録されているソフトウェアは、Windows XP 上での動作が保証されていない場合があります。

■「マイリカバリ」について

「マイリカバリ」で作成したディスクイメージは、作成時と復元時の OS が異なると利用できません。作成時の OS に戻してから復元をしてください。

■「FM かんたんバックアップ」「かんたんバックアップレスキュー」について

各ソフトウェアで作成したバックアップデータは、作成時と復元時の OS が異なると利用できません。作成時の OS に戻してから復元をしてください。

■「診断ツール」について

Windows XP では、「診断ツール（富士通ハードウェア診断ツール）」はご利用になれません。診断プログラムをご利用になる場合は、次の手順で行ってください。

1 **パソコンの電源を入れます。**
2 **FUJITSU ロゴが表示されている間に【Enter】キーを押します。**
3 **【↑】または【↓】キーを押して「診断プログラム」を選びます。**

なお、簡易診断を行ってトラブルが発見されなかった場合、「引き続き詳細な診断を実行します。」と表示されて「トラブル解決ナビ」が起動しますが、お使いになれませんのでそのまま「終了」をクリックして終了してください。

■「FMV サポートナビ」について

「FMV サポートナビ」から「トラブル解決ナビ」を起動することはできません。
また、「バックアップことはじめ」ボタンは利用できません。

■ビデオメモリの最大容量が変わります。

ビデオメモリの最大容量は Windows 7 と Windows XP では異なります。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

添付ソフトウェアの注意事項

■ソフトウェアが一部異なります

Windows 7 と Windows XP では、このパソコンに用意されているソフトウェアが一部異なります。
Windows XP で用意されているソフトウェアについては、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

添付のマニュアルについて

このパソコンに添付されているマニュアルのうち、本マニュアル以外はすべて Windows 7 用です。
また、Windows XP 専用のマニュアルとしては、本マニュアル以外にインターネット上で見るマニュアルがあります。詳しくは「Windows XP 用マニュアルのご紹介」（→ P.2）をご覧ください。

Windows 7 のリカバリディスクについて

このパソコンには、あらかじめ Windows 7 のリカバリ領域を DVD にコピーした Windows 7 の「リカバリディスクセット」が添付されています。
添付のマニュアルに「リカバリディスクセット」の作成を勧める記載がありますが、このパソコンでは添付されているディスクをお使いいただくことができます。

Windows XP ダウングレードの準備

ここでは、Windows XP ダウングレード作業を始める前に、Windows 7 で行う準備作業について説明します。

Windows 7 のセットアップ

このパソコンをご購入後、まだWindows 7のセットアップを行っていない場合は、『スタートガイド2　セットアップ編』の「Windowsのセットアップ」をご覧になり、Windows 7のセットアップを行ってください。
Windows 7 のセットアップを行わないと、パソコンの初期設定が正しく実行されません。必ず先に Windows 7 のセットアップを行ってください。

データをバックアップする

Windows XPへダウングレードするときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。
このため、CドライブやDドライブのデータなど、ハードディスク内のすべてのデータが消えてしまいます。
Windows XPへダウングレードする前に、必要なデータは必ずCD、DVD、外付けのハードディスクなどにバックアップしてください。
なお、「FM かんたんバックアップ」はWindows XPダウングレード後のデータの復元には対応していません。「FM かんたんバックアップ」は使用せず、個別にファイルをコピーしてバックアップしてください。

Windows XP ダウングレードの実行

準備するもの

● トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク
Windows XP 用（黄色のラベル）をお使いください。
● ソフトウェアディスク
Windows XP 用（黄色のラベル）をお使いください。
●Office Personal 2007 のパッケージ
（Office Personal 2007 搭載機種のみ）
●Office PowerPoint 2007 のパッケージ
（Office Personal with PowerPoint 2007 搭載機種のみ）

Windows XP の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」を実行する

Windows XP 用の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」を実行して、Windows 7 から Windows XP にダウングレードします。

重要

- 必要なデータはバックアップしてください。
  Windows XP にダウングレードするときに、ハードディスク内のすべてのデータが消えます。必要なデータは必ず CD、DVD、外付けのハードディスクなどにバックアップしてください。

1. パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
2. AC アダプタを接続し、パソコンの電源を入れます。
3. 「FUJITSU」のロゴマークが表示され、画面の下に「マウスをクリックするか、<Enter>を押してください。」と表示されている間に、【Enter】キーを押します。
   ポップアップメニューが表示されます。

POINT

- ポップアップメニューが表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押してパソコンを再起動し、もう一度操作してください。

4. 【↑】または【↓】キーを押して「起動メニュー」を選択し、【Enter】キーを押します。
   起動メニューが表示されます。
5. Windows XP 用の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」をセットします。
6. 【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
   しばらくすると、「Windows XP の環境に戻します」という画面が表示されます。
7. 「続行」をクリックします。
   「領域設定を始める前に、必ず以下をよくお読みください」という画面が表示されます。
8. 「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
   「領域設定」の画面が表示されます。
9. C ドライブと D ドライブのサイズを指定して、「実行」をクリックします。
   「領域を設定します。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。
10. 「はい」をクリックします。
    ハードディスクの領域設定が行われます。
11. リカバリについて説明する画面が表示されたら、「次へ」をクリックします。
    画面の図に「Cドライブのみご購入時の状態に戻ります。Dドライブのデータはそのまま残ります。」と表示されますが、Cドライブにはご購入時のOS（Windows 7）ではなく、Windows XPがインストールされます。また、Windows XPダウングレード作業時には、領域を設定したためDドライブのデータは削除されています。
12. 「リカバリを実行」をクリックします。
13. 「更新プログラムの確認」画面で、Windows XP 用の「ソフトウェアディスク」をセットして「OK」をクリックします。
14. 「リカバリが完了しました。」というメッセージが表示されたらディスクを取り出し、「OK」をクリックします。
    パソコンが再起動します。

続けて Windows XP のセットアップを行います。

Windows XP のセットアップを行う

1. パソコンが再起動し、「Microsoft Windows へようこそ」が表示されるまで、しばらくお待ちください。
2. 「次へ」をクリックします。
   使用許諾契約が表示されます。
   使用許諾契約は、Windows XP をお使いになるうえでの契約を記述したものです。
3. 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。
   「コンピュータを保護してください」と表示されます。

POINT

- 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックした後、メッセージに従って操作してください。

4. 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」を選んで、「次へ」をクリックします。
   「コンピュータに名前を付けてください」と表示されます。
5. 必要に応じて「このコンピュータの名前」と「コンピュータの説明」を入力し、「次へ」をクリックします。
   「管理者パスワードを設定してください」と表示されます。

POINT

- 「コンピュータの説明」は省略できます。
  また、コンピュータの名前や説明は、セットアップ終了後にあらためて設定することができます。

6 必要に応じて「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。

「このコンピュータをドメインに参加させますか ?」と表示されます。

POINT

- 管理者パスワードは後から設定することができます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。
- パスワードでは大文字／小文字が区別されます。
- 「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか ?」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。
- 「設定が完了しました」と表示された場合は、手順 10 へ進んでください。

7 「いいえ ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「インターネット接続を確認しています」と表示されます。しばらくすると、「インターネット接続が選択されませんでした。」と表示されます。

POINT

- 「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」と表示された場合は、手順 9 へ進んでください。

8 「省略」をクリックします。

「Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか ?」と表示されます。

9 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「設定が完了しました」と表示されます。

10 「完了」をクリックします。

パソコンが再起動します。

POINT

- 手順6でパスワードを設定した場合はパスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し、「→」をクリックします。
- 「Office Personal 2007」搭載機種の方
  Office Personal 2007 をインストールします。
  1. 「Microsoft Office・・・をインストールします」と表示されたら、「Office Personal 2007」のディスクをセットし、「はい」をクリックします。
  2. プロダクトキーを入力する画面が表示されたら「プロダクトキー」を入力し、「次へ」をクリックします。
  3. 「マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項をお読みください」と表示されたら、内容をよく読み「「マイクロソフト　ソフトウェア　ライセンス条項」に同意します」をクリックしてチェックを付け、「次へ」をクリックします。
  4. 「今すぐインストール」をクリックします。
  5. インストール終了のメッセージが表示されたら、「閉じる」をクリックします。
     「Office Personal with PowerPoint 2007」搭載機種の方は、「Office Personal 2007」のインストールに続いて「PowerPoint 2007」をインストールします。表示されるメッセージに従ってインストールしてください。
     インストールの途中で、プロダクトキーの入力が必要になります。「PowerPoint 2007」のパッケージに同梱されているプロダクトキーの半角英数字を入力してください。
  6. ウィザードの指示に従って、「2007 Microsoft Office system Service Pack 2」をインストールします。
  7. 「パソコンの設定」ウィンドウで「OK」をクリックします。
     この後は、手順 12 に進んでください。

11 デスクトップの「必ず実行してください」をダブルクリックします。

「このパソコンに最適な設定を行います」ウィンドウが表示されます。

重 要

- 「必ず実行してください」を行わないと、セットアップの最終設定が行われません。必ず手順どおりに実行してください。

12 「実行する」をクリックします。

しばらくお待ちください。
保証開始日を示した画面が表示されます。

13 「閉じる」をクリックします。

14 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。

15 「OK」をクリックします。

Windows が再起動します。

POINT

- 手順 6 でパスワードを設定した場合は、そのパスワードを入力し、「→」をクリックします。

これでセットアップが終了しました。

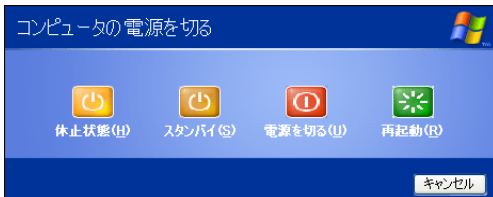
セットアップが終わったら、パソコンを使い始める前に、Windows Updateやセキュリティ対策ソフトの設定などを行ってください。
詳しくは、インターネット上のマニュアル「製品ガイド」の「セキュリティ」をご覧ください。

Windows XP での電源の切り方

注意事項

- 電源を切る前に、すべての作業を終了し、データを保存してください。
- 電源を切った後、すぐに電源を入れないでください。再度電源を入れる場合は、10 秒以上待ってから電源を入れてください。
- 電源を切るときに、ノイズが発生することがあります。その場合は、音量を下げてお使いください。
- 液晶ディスプレイは静かに閉じてください。
  閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

電源の切り方

「スタート」ボタン→「終了オプション」→「電源を切る」の順にクリックします。Windows が終了し、パソコンの電源が切れます。

POINT

- 上記操作で電源が切れない場合、次の手順で電源を切ってください。
  1. 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
  2. Windows を終了します。
     表示されるウィンドウによって手順が異なります。
     - 「Windows タスクマネージャ」ウィンドウが表示された場合
       「シャットダウン」メニュー→「コンピュータの電源を切る」の順にクリックします。
     - 「Windows のセキュリティ」ウィンドウが表示された場合
       1. 「シャットダウン」をクリックします。
          「Windows のシャットダウン」ウィンドウが表示されます。
       2. 「シャットダウン」を選択し、「OK」をクリックします。

  それでも電源が切れない場合は、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。
- 「コンピュータの電源を切る」の画面で、「再起動」を選択すると、パソコンを再起動することができます。
- 上記の画面で、「スタンバイ」または「休止状態」を選択すると、パソコンが省電力状態になります。詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。
- この後、パソコンを長期間使用しない場合は、AC アダプタやバッテリパックを取り外してください。

2. 必要に応じてお読みください

BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

BIOS セットアップの設定値を、本パソコンご購入時の状態に戻す方法について説明します。

1 AC アダプタを接続します。
2 本パソコンを起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されている間に、【Enter】キーを押します。
ポップアップメニューが表示されます。

（お使いの機種により画面は異なります）

POINT

- ポップアップメニューが表示されない場合は、本パソコンを再起動してもう一度操作してください。再起動については、「電源の切り方」（→ P.10）をご覧ください。

3 【↓】または【↑】キーを押して「BIOS セットアップ」を選択し、【Enter】キーを押します。
BIOS セットアップが起動します。
4 「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行した後、設定を保存して BIOS セットアップを終了します。

重 要

- 「標準設定値を読み込む」を実行しても、管理者用パスワード、ユーザー用パスワード、ハードディスクパスワード、所有者情報の設定は、現在お使いの状態のまま変更されません。

Windows XP が起動できないときにデータをバックアップする（かんたんバックアップレスキュー）

Windows XP が起動できない場合は、Windows XP 用の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」に入っている「かんたんバックアップレスキュー」を使用して、大切なデータのバックアップを行うことができます。バックアップしたデータはＤドライブに保存されます。
データをバックアップした後、Ｃ ドライブをリカバリして Windows XP が起動できるようになったら、「FM かんたんバックアップ」というソフトウェアを使ってバックアップしたデータを復元します。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。
2 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面が表示されたら、すぐにキーボードの【Enter】キーを押します。
ポップアップメニューが表示されます。
3 【↑】または【↓】キーを押して「起動メニュー」を選択し、【Enter】キーを押します。
起動メニューが表示されます。
4 「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」をセットします。
認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。
5 【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
「トラブル解決ナビ」が表示されるまでそのまましばらくお待ちください。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりしますが、故障ではありません。
6 「トラブル解決ナビ」で「ユーティリティ」タブをクリックします。
7 「かんたんバックアップレスキュー」を選んで、「実行」をクリックします。
8 「かんたんバックアップレスキューのワンポイント」ウィンドウの内容を確認し、「閉じる」をクリックします。
9 「項目を選択して保存を実行」をクリックします。
10 データを保存したい「ユーザー プロファイル フォルダ」を選んで、「OK」をクリックします。
11 「保存する内容」の一覧から、バックアップしたい項目にチェックを付けます。
12 「保存データ格納先」が「D:¥PE_BACKUP¥[選択したユーザープロファイルフォルダ]」になっているか確認して「データの保存開始」をクリックします。
13 「かんたんバックアップレスキューー保存開始」ウィンドウで保存項目を確認し、「開始」をクリックします。
データのバックアップが始まります。
14 バックアップが終わったら、「かんたんバックアップレスキューー保存結果」ウィンドウで「結果」がすべて「正常終了」になっていることを確認し、「閉じる」をクリックします。
15 「かんたんバックアップレスキュー」ウィンドウで「終了」をクリックします。
「トラブル解決ナビ」に戻ります。
これでバックアップは終了です。

バックアップしたデータは、Cドライブをリカバリして Windows XPを起動できるようにした後、「FM かんたんバックアップ」を使って復元してください。

詳しくは、インターネット上のマニュアル『製品ガイド』をご覧ください。

マイリカバリについて

「マイリカバリ」でできること

「マイリカバリ」は、ハードディスク（C ドライブのみ）をまるごとディスクイメージとして保存しておき、必要なときにディスクイメージを保存したときと同じ状態に戻すことのできるソフトウェアです。
「マイリカバリ」を使ったリカバリを行うにはどのような作業が必要か、簡単に説明します。

■ディスクイメージを作成する

「マイリカバリ」では、C ドライブのデータをまるごとディスクイメージとしてD ドライブなどC ドライブ以外の他のドライブに作成します。ディスクイメージとは、ハードディスクに格納されたあらゆる情報を 1 つにまとめたファイルです。C ドライブをまるごと D ドライブなどにバックアップしておくようなものと考えれば良いでしょう。

■ディスクイメージを復元する

ディスクイメージを復元すると、Cドライブがディスクイメージを作成したときと同じ状態に戻ります。
ただし、Windows XP の「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを、Windows 7 の「マイリカバリ」を使って復元することはできません。同様に Windows 7 の「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを、Windows XP の「マイリカバリ」を使って復元することはできません。

■こんなときに便利です

万が一、トラブルが発生してパソコンの調子がおかしくなったときに、パソコンの調子が良かったときの状態をそのまま保存したディスクイメージを作成しておけば安心です。「マイリカバリ」を使って、簡単な操作でパソコンを調子の良かったときの状態に戻すことができます。
ただし、Windows XP にダウングレードした直後の状態では、ディスクイメージはまだ作成されていません。
セットアップやセキュリティ対策などの設定をひととおり終えた後は、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成して保存しておきましょう。Cドライブのバックアップとして、定期的にディスクイメージを作成しておくことをお勧めします。

「マイリカバリ」の使い方〜ディスクイメージを作成する

いざというときに備えて、C ドライブのディスクイメージを作成しましょう。
ここでは、「マイリカバリ」でディスクイメージを作成する方法を説明します。

重 要

- 市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能などでハードディスクの領域を変更した場合は、ディスクイメージを復元したり、ディスクイメージを D ドライブに作成したりすることができません。
- パソコンに不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください。
  ディスクイメージを作成すると、パソコンの C ドライブをそのままの状態で保存するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。
- 外付けハードディスクにディスクイメージを保存する場合、USB［ユーエスビー］接続の外付けハードディスクを用意してください。USB 接続以外の接続方式の外付けハードディスクでは、正常に動作しない場合があります。
- 外付けハードディスクをお使いになる場合は、「マイリカバリ」起動後に「ディスクイメージの保存先が外付けハードディスクの場合は、ここで接続してください。」と表示されてから接続してください。
  すでにパソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

1 AC アダプタを接続します。
2 デスクトップの（マイリカバリ）をクリックします。
「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。
3 (閉じる) をクリックします。
「マイリカバリとは」ウィンドウが閉じて、「マイリカバリ」が表示されます。
4「つくる」をクリックします。

POINT

- Dドライブの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、次の方法で D ドライブの空き容量を増やしてください。
  - ・「マイリカバリ」の「管理」で不要なディスクイメージを削除する
  - ・D ドライブにある不要なファイルを削除する

「マイリカバリ」で作成されるディスクイメージは D ドライブに保存されるため、D ドライブの空き容量が足りない場合に表示されます。

5 コメント入力域に、作成するディスクイメージに付けるコメントを入力し、「次へ」をクリックします。

6 「OK」をクリックします。
パソコンが再起動し、「ディスクイメージの作成」という画面が表示されます。

7 「D ドライブにつくる」をクリックします。
保存先を D ドライブ以外にしたい場合は、「保存先選択」をクリックして保存先を選びます。
ディスクイメージの作成について説明する画面が表示されます。

8 「次へ」をクリックします。
「これからディスクイメージをつくります。」という画面が表示されます。

9 「実行」をクリックします。
ディスクイメージの作成が始まります。しばらくお待ちください。
しばらくすると、「ディスクイメージを作成しました。」と表示されます。

10 「完了」をクリックします。
Windows が再起動します。

これで、ディスクイメージが D ドライブに作成されました。

「マイリカバリ」の使い方〜ディスクイメージを復元する

「マイリカバリ」であらかじめ作成しておいたディスクイメージを、復元する方法を説明します。

重要

- ディスクイメージを復元すると、C ドライブが、ディスクイメージを作成した時点の状態に戻ります。よって、ディスクイメージを作成した後に C ドライブに保存したファイルは、すべて失われます。ディスクイメージを作成した後に保存したデータは、D ドライブ、CD、DVD などにバックアップをしておいてください。
- 外付けハードディスクに保存したディスクイメージを復元する場合、外付けハードディスクは、「マイリカバリ」起動後に「ディスクイメージの保存先が外付けハードディスクの場合は、ここで接続してください。」と表示されてから接続してください。
すでにパソコン本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- Windows 7 の「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを、Windows XP の「マイリカバリ」で復元することはできません。

1 AC アダプタを接続します。

2 次のいずれかの操作をします。
Windowsが起動する場合と起動しない場合のどちらの場合でも「マイリカバリ」は起動できます。

■ Windows が起動しない場合

1. Support ボタンを押します。
2. 【↓】キーを押して、「トラブル解決ナビ」を選択し、【Enter】キーを押します。
「トラブル解決ナビ」が表示されます。
3. 「リカバリ」タブをクリックし、「マイリカバリで戻す」をクリックして、「実行」をクリックします。

■ Windows が起動する場合

1. パソコンの電源を切らずに、（スタート）→「すべてのプログラム」→「マイリカバリ」の順にクリックします。
「マイリカバリ」の概要を説明する「マイリカバリとは」ウィンドウが表示されます。
2. （閉じる）をクリックします。
「マイリカバリ」が表示されます。
3. 「もどす」をクリックします。
4. 「OK」をクリックします。
パソコンが再起動します。

3 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。

4 復元するディスクイメージをクリックして選びます。
ディスクイメージの復元について説明する画面が表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

6 「実行」をクリックします。
ディスクイメージを使ったリカバリが始まります。

7 そのまましばらくお待ちください。
しばらくすると、「復元が完了しました。」と表示されます。

8 「OK」をクリックします。
Windows が再起動します。

これで、「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ったリカバリが完了しました。

Windows XP のリカバリ

Windows XP が起動しないなどの問題が発生した場合は、Windows XP をダウングレードしたときの状態にもどすためにリカバリを行います。

Windows XP のリカバリ概要

Windows XP のリカバリとは、Windows XP 用の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」を使用して、Windows XP をダウングレードしたときの状態に戻すことです。
Windows XP が起動しないなどのトラブルが起こった場合は、リカバリを行うと解決することがあります。
ただし、リカバリを行うと C ドライブのデータはすべて失われるのでご注意ください。D ドライブのデータは残ります。
「マイリカバリ」でディスクイメージを作成している場合は、リカバリを行う前に「マイリカバリ」で作成したディスクイメージを使ってリカバリすることをお勧めします。それでも問題が解決しない場合は、Windows XP 用の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」を使用してリカバリを行ってください。

注意事項

- リカバリを行うと、C ドライブのデータはすべて失われます。必要に応じて事前にバックアップしておいてください。
- 市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能で、ハードディスク領域の「不明なパーティション」と表示されている部分を削除したり変更したりした状態でリカバリを実行しようとすると、C ドライブ以外のデータが削除されてしまうおそれがあります。
  CD や DVD などにハードディスク内のデータをバックアップしたうえで「領域設定」を行い、ハードディスクの領域を正常な状態に戻してからリカバリを実行してください。
  領域の設定方法は、「ハードディスクの領域を設定する」（→ P.14）をご覧ください。
- リカバリを行うときは、必ず AC アダプタを接続してください。
- 周辺機器を取り付けている場合は、それらを一度取り外し、リカバリを行ってください。
- リカバリを終えてセットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- リカバリには時間がかかります。時間に余裕をもって作業してください。

Windows XP のリカバリ手順

1 「Windows XP の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」を実行する」（→ P.8）の手順 1 ～ 5 の操作を行います。

2 【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
「トラブル解決ナビ」が表示されます。

3 「リカバリ」タブをクリックし、「リカバリの実行」をクリックして、「実行」をクリックします。
「マイリカバリをお使いではありませんか」というウィンドウが表示されます。

4 「実行」をクリックします。

5 「ご使用上の注意」をよく読み、「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。
「ご使用上の注意」を下までスクロールすると、「同意する」が選択できるようになります。

6 この後は、「Windows XP の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」を実行する」（→ P.8）の手順 11 以降をご覧になり、操作してください。

ハードディスクの領域を設定する

重要

- この操作をすると、ハードディスク内のデータ（C ドライブ、D ドライブ共に）がすべて削除されます。必要なデータはあらかじめ CD/DVD など別の媒体にバックアップしておいてください。
- ハードディスクの領域を設定するときは、必ずこのマニュアルの手順に従って「トラブル解決ナビ」から行ってください。市販のソフトウェアや Windows XP の「ディスクの管理」機能などでハードディスクの領域を設定しないでください。

1 「Windows XP の「トラブル解決ナビ＆リカバリデータディスク」を実行する」（→ P.8）の手順 1 ～ 5 の操作を行います。

2 【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。
「トラブル解決ナビ」が表示されます。

3 「ユーティリティ」タブをクリックし、「領域設定」をクリックして、「実行」をクリックします。

4 「同意する」をクリックして、「次へ」をクリックします。
ハードディスクの領域を設定する画面が表示されます。

5 スライダーを左右にドラッグし、C ドライブと D ドライブの容量を指定して、「実行」をクリックします。

6 「はい」をクリックします。
ハードディスクの領域が設定されます。

7「完了」をクリックします。

この後は、Windows XP のリカバリを行います。Windows XP のリカバリ手順は、「Windows XP のリカバリ手順」（→ P.14）の手順 3 以降をご覧になり、操作してください。

Windows 7 に戻す

Windows XPへダウングレードしたパソコンは、再びWindows 7 に戻すことができます。

重 要

- Windows 7 に戻すときに、ハードディスクの領域が設定し直されます。
  このため、CドライブやDドライブのデータなど、ハードディスク内のすべてのデータが消えてしまいます。
  Windows 7 に戻す前に、必要なデータは必ず CD、DVD、外付けハードディスクなどにバックアップしてください。

準備するもの

次のディスクを用意してください。

- Windows 7 用（青色のラベル）のディスク
  - 「トラブル解決ナビ&ソフトウェアディスク 1」
  - 「ソフトウェアディスク 2」
  - 「リカバリデータディスク」
  - 「画面で見るマニュアル」
- Windows 7 と Windows XP 共通のディスク
  - Office Personal 2007 のパッケージ
    （Office Personal 2007 搭載機種のみ）
  - Office PowerPoint 2007 のパッケージ
    （Office Personal with PowerPoint 2007 搭載機種のみ）

Windows 7 に戻す手順

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 AC アダプタを接続し、パソコンの電源を入れます。

3「FUJITSU」のロゴマークが表示され、画面の下に「マウスをクリックするか、<Enter>を押してください。」と表示されている間に、【Enter】キーを押します。

ポップアップメニューが表示されます。

POINT

- ポップアップメニューが表示されない場合は、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押してパソコンを再起動し、もう一度操作してください。

4【↑】または【↓】キーを押して「起動メニュー」を選択し、【Enter】キーを押します。

起動メニューが表示されます。

5 Windows 7 用の「トラブル解決ナビ＆ソフトウェアディスク 1」をセットします。

6【↓】キーを押して「CD/DVD Drive」を選択し、【Enter】キーを押します。

7 そのまましばらくお待ちください。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。電源を切らずに、そのままお待ちください。

8「トラブル解決ナビ」が表示されたら「リカバリ」タブをクリックし、「全ドライブをご購入時の状態に戻す」をクリックして、「実行」をクリックします。

ご使用上の注意が表示されます。

9 内容をよくお読みになり、同意する場合は「同意する」をクリックし、「次へ」をクリックします。

10 画面のメッセージに従って操作します。

この後は、

1. リカバリデータディスクの確認
2. ハードディスクの領域を設定する
3. リカバリ領域にリカバリデータを復元する
4. リカバリを実行する

の順に進んでいきます。画面のメッセージで指定されたディスクをセットして操作を進めてください。

「リカバリが正常に完了しました。」と表示されたら手順 11 に進んでください。

11「OK」をクリックします。

パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。「Windows のセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずに、そのままお待ちください。

これで、全ドライブがご購入時の状態に戻りました。

この後は、Windows のセットアップを行います。『トラブル解決ガイド』→「パソコンを復元する（リカバリ）」→「付録」→「ご購入時の状態に戻すリカバリ」→「ご購入時の状態に戻すリカバリを実行する」→「STEP5 Windows のセットアップをする」から「STEP10 以前の環境に戻す」までをご覧になり、操作してください。

FMV-BIBLO MG/E75N, MG/E70N
FMV-BIBLO R/E70, R/E70N, R/E50N

Windows XP をお使いになる方へ
B6FJ-2611-01-00

発 行 日　2009 年 10 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

Printed in Japan

㋐0909-1

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収･リサイクルにお出しください。